



2018年  
2月28日  
発行

日本山岳会

# 「高尾の森」通信



—小下沢風景林の森づくり活動—

会員数：202名  
(2018.2.28 現在)



## 小下沢ベース周辺

何気なく集まっている小下沢ベースですがザリクボ沢と小下沢が合流し、ハイカーと鳥たちや動物が集う、見通しの良い好立地のスペースです。

ベース小屋の裏入口にある切株に新しい息吹が生まれています。

もう直ぐ、春が訪れます！

<http://JACtakao.net>

12月定例作業



これくらいなら簡単です。



あと一息です。頑張ろう！



教えてもらうのもまた、楽しい！



次はこれね、私が切ろうかな。



上柚木公園整備 PJ も順調に進んでいます。

1月定例作業



今年の安全を祈願して道祖神にお参り、献杯いたしました。



急な斜面もなんのその・・・



空も晴れ晴れ、準備完了、作業開始です。



陽だまりでの楽しいランチタイム！

紅葉鑑賞会



沢山の協賛企業の方や林業関係団体の方に来て頂きました。



忘年会



FUMOTOYA さんでの忘年会です。

今年に入って **雪** が凄かった!!!



1月定例作業



作業を終了して満足、この笑顔!!

ベースに帰れば  
手作りぜんざいが待っていました。



2月定例作業

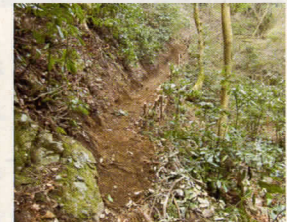
2月17日に定例作業の  
振り替えで、残雪もあり  
ましたが楽しく活動を行  
えました。



都有林 PJ 稼働



第1回目には23名が参加  
コース選定や道作りを行いました。



周回のための道を作っています。

カエデ樹液の流動調査班活動

今年もカエデ樹液の流動調査を実施しています。




もくじ

小下沢 NOTE.....02  
 新しい一歩を踏みだそう.....04  
 山における安全に関して.....06  
 挿画「椿」.....07  
 法人紹介.....08  
 私のお気に入り.....08  
 幹事会報告.....09  
 高尾の森の哺乳類調査報告.....10  
 「広田久寿さん」を偲んで.....11  
 会員紹介.....11  
 事務局からのお知らせ.....12

# 新しい一歩を 踏みだそう

代表 吉川正幸

私は、新年にいくつかの目標をたてます。ほとんどが今年はどこに旅行に行くなどの願望です。そのうち、実際に目標が実現できるのは少ししかありません。大半が翌年に計画延期になり、没になる目標も多くあります。周到に準備したにも関わらず、パスポートの残存期間の不足のため、空港で搭乗拒否されて旅行に出発できなかったこともありました。負け惜しみですが、それでも良いと思っています。なぜなら目標がなければ、実行できないし、翌年の再挑戦もないからです。



目標が実現できない言い訳は幾らでもあります。仕事で忙しかったときは、体力はあったのですが暇がありませんでした。今は、暇は増えましたが体力がなくなりました。しかし、本質は意欲の問題です。また、失敗を恐れる心が新しいことに挑めない理由です。意欲、つまり、気力や根気を持つためには、何かキラキラしたような目標があることが必要です。結局、新しい目標を見つけ出すことが大事だと思います。新しいことに踏み出すには一歩目の勇気が必要です。

つい先日、高尾の森で、新しい一歩を踏み出す光景を見ました。申請に丸一年かかりましたが、やっと小下沢の都営林の森づくりの許可がおりました。日比野さん、小山さんの呼びかけで、師走の日曜に、初めての都営林の作業がありました。参加者は少ないのではと思い、応援にかけつけたところ、20名を超える方が集まっているのには驚きました。その中には、腰が痛い、ひざが悪いと言いながらも、アラウンド80の大先輩も、生き生きとして作業に加わっておられたのには、また驚かされました。あらためて、好奇心旺盛で、新しいことに踏み出す勇気を持っておられる先輩が、ますますお元気になるように思えました。

高尾の森づくりの会は、内部的には会員の高齢化が進み、小下沢国有林の作業環境も変わって転機を迎えています。このため昨年からは、①健康に留意しながら自ら楽しむこと。②仲間と切磋琢磨し、少し勉強すること。③新会員獲得と次世代を養成すること。の3つを目的として、屋外と屋内の研修会や青少年の自然教室の開催などを会の新しい柱に位置づけてきました。

このような会の大きな目標に向けての具体化は、徐々に進んできてはいますが、さらに加速する必要があります。あえて言えば、重要課題であったニューフェイス（年齢問わず）の獲得も思うように進んでおらず、もっと会員の若返りを図る必要があります。この一年の経験でも、会の従来慣行やお決まりの作業にこだわって、保守的、内向的になってはいないかと自問する場面もかなりありました。

## 2018年はチャンス的一年です。

2018年は、国の林業政策にとって大きな転機となるようです。国有林の営林事業は、新設の森林税を原資として、地方自治体に移管され、地方自治体は業務を民間に委託する方針と報道されています。この変化は、やがては国有林を借りる我々の会にも大きな影響を及ぼすでしょう。



また、2018年秋には、初めて東京で全国育樹祭が開催されます。それは公益社団法人国土緑化推進機構と東京都の共催事業として、武蔵野の森総合スポーツプラザ（調布市）で5千人規模の大きな式典が計画されています。全国育樹祭を盛り上げるために、林業や森に関係のある団体には、全国育樹祭の行事への参加が勧められています。

我々を取り巻く環境の変化にただ流されるのではなく、積極的に係わることによって、高尾の森づくりの会の目標達成のためのチャンスに変えることができると思います。国の林業政策の変化への対応は難しすぎますが、我々の本来の仕事である小下沢国有林の作業をしっかりと続けて、ボランティア団体としての存在感を増すことが重要だと思います。全国育樹祭に、会として積極的に係わることは、きっと将来、役に立つはずで。

さらに、会の行事についても、なるべく外部の団体との連携を進めて、オープンなものにしてゆきたいと考えます。高尾の森の行事に、会員でない方が参加してもらえらる仕組みを考えましょう。外部との連携は、新しいアイデアや新人を招き入れることになると思います。このためにも、勇気をもった新たな一歩が必要です。

もちろん、一つのことをしっかりと続けることも重要です。しかし、失敗を恐れずに新たな一歩を踏み出すことによって、高尾の森に新しい道を開くことになるでしょう。楽しく森づくりをしながら、皆さんと一緒に知恵を絞って、汗をかきたいと思います。

# 山における 安全に関して

相澤 篤

「安全」に係わる内容で『「高尾の森」通信』に寄稿をとのお話があり、安請け合いし、原稿ノ切1週間前になって反省していました。

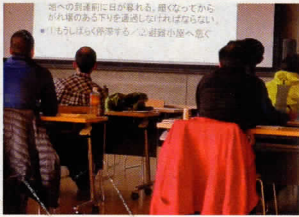
実は、ある団体の山登りのセミナーで危急時対応の講習を担当していますが、「山の仕事」と「山登り」における安全に係る視点の相違を改めて整理してみると大きな違いがありました。兎も角、今更ということもあって、紙面を想定している頁に穴を空けず、「高尾の森づくりの会」に相応しい内容になるよう考えてみました。

当会は、「多様で豊かな森の復元」を目指して活動していますので、所謂、「林業」とも異なります。しかしながら、作業は、林業との共通項が大半です。その林業は、統計を見ると大変危険な仕事といえます。詳細は割愛しますが、林業の事故率は、全産業平均の12倍以上という高率が報告されています。だからこそ、現場での安全意識が大切なことは、言うまでもありません。そして、頻繁に開催されている当会の「森の研修会」における「安全」に係わる啓蒙の重要性も理解できることです。私は、D班に所属していますが、高橋リーダーが間伐等の作業の合間にお話し下さる内容は、作業技術の習得と共に「安全」の再確認に繋がっています。例えば、「切ることよりも、先ず逃げるのが安全作業の第一」として、①退路を確保する（伐倒方向の谷側に逃げないなど）、②足元をクリアにする（転倒防止のための枝葉を片付けるなど）、③周囲の幹に注意する（尖った枝を予め切っておくなど）といった本当に当たり前なことですが、忘れがちになってしまう大切なことなので、大変ありがたく思っています。「人は、いざという時に、体験したことしか出来ない」という言葉を聞きますが、現場での短いレクチャーと実体験は、大変貴重な時間に思えます。



例えば、上の写真は、D班が担当している急峻な林地ですが、単なる山登りとして眺めても、様々な危険箇所、危険要素を想像できます。多くの班員は、経験豊富なベテランばかりですので、写真のような場所でも、いつものごとく淡々と作業を進めると思っています。しかしながら、時には、当会の作業を体験したいということで、このような場所へ足を踏み入れるのが初めてという参加者がいらっしゃるかもしれません。

先ず、そのような初参加者とご一緒した場合、ベテランは、推察される危険箇所と危険要素を複数列挙できる筈です。貴重な体験・スキル・資格を蓄積しているベテランの下、その蓄積を共有する勉強会を随時行っている当会の方向性は、基本的な安全作業を継続する大きな力になっていると言えます。また、実際の統計を見ると、事故を起こすのは新人だけではなく、ベテランにも多く、就業者の背景にもよりますが、林業における死者数の8割が50歳以上となっています。慣れや忘れがちになる事象が様々あり、安全作業を振り返る情報共有の場が多いのも当会の魅力です。



振返りの場合は、時間的な制約もありますが、机上と実地のプログラムの組み合わせで工夫されます。その結果として、お互いの引き出しにある知識やスキルを出し合うことが出来ます。教えるという場も大切ですが、教え合う、あるいは、工夫し合う場は創造性を高める楽しい時間になるかと思えます。(写真にある講習の場面は、高尾の森づくりの会の講習ではございません。)

さて、安全に係わる議論で取り上げられるリスクマネジメントの基本的な用語には、「リスク」と「ハザード」があります。具体的な内容は、専門書等に譲るとして、山における「リスク」は、天候、季節、年齢、力量(能力・知識・経験)などの条件によって変わることがよく知られています。また、ハザードとは、「潜在危険」とも訳され、ある特定の環境で危害をもたらし得る(潜在性を持つ)状況、あるいは物という意味合いで説明されていますが、これは、一般的に見える場所まで近づかなければ、何の危険も生じない対象です。しかしながら、事前にハザードが存在するか否かの認識がなければ危険を察知することも回避することもできません。具体的にリスクとハザードを知るため、そして、認識するためにも引き続き啓蒙の努力に意義を感じます。

例えば、一般的な山登りに関する啓蒙ですが、2014年に公益社団法人日本山岳ガイド協会から「安全登山ハンドブック」という15ページほどの小冊子が発行されました。その内容の中で知っておくべきこととして、「4つの点検」と「9つの危険」を伝えています。項目のみを列記してみますと、次の様な内容です。



#### 知っておこう 登山前「4つの点検」

- ① 身体の準備 ② 模擬登山 ③ 忘れ物は ④ 登山届の提出

#### 知っておこう 登山中「9つの危険」

- ① 道迷い ② 転倒・転落・滑落 ③ 疲労 ④ 落石 ⑤ 落雷
- ⑥ 雪崩と崩落 ⑦ 鉄砲水 ⑧ 凍傷 ⑨ 危険な野生生物

以上、大変大雑把に記述しました。上記についての詳細を知り、各自の知識とスキル向上を図ることが求められています。その他にも多々あり、勿論、「山の装備とウェア」等に係わる留意点の充実も求められます。

ここまで書いてきましたが、安全の確保について知っておくべき事柄、あるいは習得しておくべきスキルは、大変広範です。今回は、一人の知識やスキルのみでなく、その共有が大切ということを私自身も再認識するテーマとなりました。何らかのお役に立つ情報になることを祈っています。

## 椿



椿(別名ヤブツバキ)は我が国を代表する花木であり、中国・ベトナム産の原種や園芸品種などを総称して「椿」と呼ぶが古語はツバで光沢のある様子からツヤハギ(艶葉木)またはアツバキ(厚葉木)から由来している。花期は冬から春に掛けてまたがり、早咲きのものは冬のさなかに咲く。寒中、鳥や虫たちの命を支えてくれる大切な蜜源の花である。

(画:横川信由)

# アサヒビール株式会社

首都圏統括本部 営業企画部 馬場 大輔

当社は2008年から高尾の森づくりの会に参加させて頂き、本年で10年目を迎えました。毎年、春の定例作業2回、育樹祭、秋の定例作業2回、紅葉観賞会の年6回を目途に楽しく参加させて頂いております。私が窓口をさせて頂くようになってからも5年が経ち、社内でもこの活動の認知率が上がっており、毎回新しいメンバーと共に参加させて頂き、普段の生活では味わうことのできない間伐や下草刈りという非日常の体験を通じて、達成感や連帯感を感じさせて頂いております。

また最近では、イベントにて当社の発売前商品を、皆さんにご試飲頂き、ご感想を頂いたり、その表情を拝見することで発売後のお客様の感想を事前体験させて頂き、発売時の販促に活かさせて頂いております。また事前に飲んで頂くことで、高尾の森づくりの会の皆さまは、発売後も継続して購入頂いていると信じております。(笑)

最後に本号をお読み頂いている3月は当社から、新商品を多く発売させて頂きます。ビールでは、昨年同期限定で発売した「アサヒスーパードライ 瞬冷辛口」を昨年より冷涼感をさらに強化して、通年商品として新発売させて頂きます。こちらの商品の特長は、希少なホップを使い、飲んだ瞬間に喉元で冷たさを体感できる設計となっております。また缶チューハイでは、従来のチューハイにはない、果実1/2個分の果汁を贅沢に詰め込んだ、贅沢な高果汁チューハイ、「贅沢搾り」を新発売致します。ぜひ皆様、スーパーマーケットやコンビニで見つけた際は、1本手に取って頂けると幸いです。もちろん次回の育樹祭時には、見本を提供させて頂きます。

末筆となりますが、今後とも皆様のお力添えを賜りながら、20年、30年と活動を継続して参りたいと思っておりますので、末永いお付き合いの程宜しくお願い致します。



法人会員としてC班での板当地区での活動写真



「アサヒスーパードライ 瞬冷辛口」と「贅沢搾り」



## 私のお気に入り 「ピッケル」

小口 治

今から30年ほど前、私が40歳頃の事である。春3月に八ヶ岳へ一人で入り、雪深い黒百合平でテントの中にいたところ、外から呼ぶ声がした。小屋の管理人が見回りに来て曰く、「外に刺してある『カドタのピッケル』は、今では手に入らない貴重品だからテントの中にしまった方がいいですよ」と。入社して2年目頃に、会社の山岳部の先輩から教えられて、安くはなかった「カドタのピッケル」を購入し、嬉しくて木製のシャフトに每晚アマニ油を塗り込んだ日々が懐かしく思い出される。



(アマニ油はシャフトの補強、耐水性向上のため)

それ以来、このピッケルを携えては、南アルプスや北ア、八ヶ岳などへ良く出かけた。台湾の玉山へも一緒に。積雪期の登山は危険を伴うことから、用心深い私は冬山登山にはそれほど熱中することはなかったが、雪山の美しさ・厳しさは格別で、

何十年の間、  
山歩きで私を支えてくれた  
ピッケル

思い出すだけでも身震いするほどである。

八ヶ岳でこのピッケルの希少価値を知ってからは、このピッケルを一層大切に思うようになった。数年前の晩秋に、私は守門岳(スモンダケ)へこのピッケルを持って出かけた。クマが襲って来た時に対決するために構えて歩いたが、その時はピッケルの出番は無かった! 年齢を重ねて私は冬山登山とはもはや縁が遠くなって来たが、これまで何十年の間、山歩きで私を支えてくれたこのピッケルにはたくさんの思い出が染み着いていて、深い愛着を感じている。



# 2017年度 幹事会報告 (抜粋)

## 12 月度 幹事会

12月4日 18時30分～20時50分

会場／立川市女性総合センター  
会議室

参加人数／幹事12名 監査役2名  
オブザーバー2名

議長／代表

書記／渡邊 (直)

### 協議 事項

1. 中長期等検討委員会中間報告 (事務局長)
2. 板当国有林の作業の進め方・森林管理署の動向 (馬場副代表)
3. 全国育樹祭 (代表)。

### 報告 事項

1. 紅葉鑑賞会 (川久保幹事・小山幹事)
2. 12月2日に行われた「機械作業実践講習会」の報告 (馬場副代表)
3. 都有林の申請書類がようやく承認される運びとの報告。 (日比野幹事)
4. 今後のスケジュール (小山幹事)

## 1 月度 幹事会

1月9日 18時30分～21時40分

会場／立川市女性総合センター  
会議室

参加人数／幹事11名 監査役2名  
オブザーバー3名

議長／代表

書記／松川

### 協議 事項

1. 全国育樹祭準備チームメンバー (代表) 6名了承される。
2. 総会スケジュールについて (事務局長)  
6月16日 (土) 富士電機能力開発センターにて開催が決まる。
3. 問題提起 (小山幹事)。

### 報告 事項

1. 12月30日「森の研修会実施報告」(高橋幹事)
2. 都有林作業報告 (日比野幹事)
3. 署への対応動向 (馬場副代表)
4. 平成30年度に向けた調査の実施 (馬場副代表)
5. 京王親子・滋慶学園予定 (大森幹事)

## 2 月度 幹事会

2月5日 18時30分～20時30分

会場／立川市女性総合センター  
会議室

参加人数／幹事12名 監査役2名  
オブザーバー1名

議長／代表

書記／松川

### 協議 事項

1. 全国育樹祭への協賛事業 (代表)
  - (1) 599 ミュージアム展示会 (3/24～4/1)
  - (2) 10月21日「家族の森林ハイキング」(仮称)の実施
2. 全国視覚障がい者全国大会への支援 (代表)
3. NPO山の自然学クラブとの連携 (代表)
4. 中長期等検討委員会報告 (事務局長)  
署からの植樹木に対する回答、動物カメラ映像に対する意見等 (馬場副代表)
5. 第三回育樹祭概要 (事務局長)  
4月15日 (日)、法人会員対象に約100名、201ほ小班での間伐体験

### 報告 事項

1. 都有林 (日比野幹事)・・・5月の植樹に向けた地拵えの許可がおりた。
2. イベント開催「高尾の森と生き物たち」(小木曾副代表)  
3/24～4/1まで、599 ミュージアムにて
3. 滝山公園整備報告 (事務局長)・・・枯損した桜の伐採
4. 普及教育の計画 (大森幹事)
5. 森づくりボランティア応急救護講習 (小山幹事)  
上級救命講習会 3月11日 (日)、日の出太陽の家ボランティアセンター武家屋敷にて

# 高尾の森の 哺乳類調査報告

山崎 勇



anagama

高尾の森で哺乳類調査を始めて、7年が経過しました。高尾の森に生息している哺乳類は36種(八王子市の市誌哺乳類の節)といわれております。高尾ではムササビが有名ですが、モグラ/ヒミズやコウモリ(8種)などを含んだ数字です。この中に高尾の森のカモシカが含まれていませんので、追加すると37種類となります。

高尾の森で動物カメラで撮影され確認されたのは、17種です。アナグマ、アライグマ、イノシシ、ウサギ、キツネ、サル、シカ、タヌキ、テン(2種)、ネズミ(3種)ハクビシン、カモシカ、コウモリ、クマ、(ノネコ:ネコが野生化して活動してます)。対象外でしたが鳥類もヤマドリやカケスなど20数種が映りました。

2010~13年は、カメラ一台体制で、主に哺乳類の種の調査と設置場所選定のためフィールド内20数か所を移動させながらの調査をし、2013年からは、定点8か所にカメラを設置し本格的な調査活動が始まり、5年間が経過し数千件のデータが蓄積されました。

多様で豊かな森づくりを目指した我々のフィールドで哺乳類の生息状況が数値で表わせる様になり、経年の傾向値が少し見えてきました。(2017年迄実績値)

## 年度別推移7種

(シカ、カモシカ、タヌキ、イノシシ、アライグマ、テン、アナグマ)

	2013	2014	2015	2016	2017	
シカ 定点8か所	3	5	6	22	32	増加傾向
カモシカ 定点8か所	0	1	4	7	10	増加傾向
タヌキ 定点2か所	178	167	78	99	114	
イノシシ 定点4か所	77	122	83	98	16	減少傾向?
アライグマ 定点8か所	3	14	26	24	20	増加傾向?
テン 定点1か所	11	15	21	17	11	
アナグマ 定点1か所	35	45	77	25	60	

\*シカ、カモシカは明らかに増えています、アライグマも増加の傾向?

\*イノシシが昨年急激に減っています、里の二人のお話でも昨年はイノシシ被害がないとの事、一時的なのか原因がハッキリしません。

\*タヌキ、テン、アナグマなど、年度別にみて通常の変動の範囲なのかもう少しデータを集めないとハッキリしません。

\*2014年2月に大雪が降り丹沢や奥秩父ではシカ等が多く餌不足で死にましたが高尾ではこの年殆ど影響を受けていません。

**シカ**について、昨年も会報で報告しましたが2016年から急増し、2017年も前年の1.5倍に増えています。個体数も10頭近く生息し、オス・メス年齢も1~5歳以上と繁殖が定着しています。

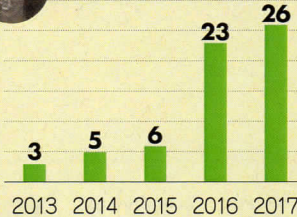
カメラの設置範囲が219~221林班で面積は、約1km<sup>2</sup>(100Ha)です。5頭/km<sup>2</sup>過密状態といわれてますので我々のフィールドはこの状況を超えつつあります。

高尾の森は冬でも青い草や、尾根筋にはササが生え、現在餌は充分ありそうです。しかし、油断をしていると、奥多摩や秩父でのシカの食害の様に被害が拡大してしまう可能性が大きくなってきました。

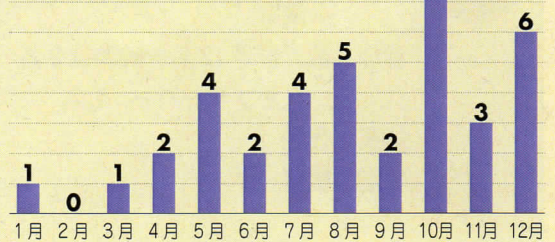
1月に馬場さんと東京神奈川森林管理署(平塚)に伺い、状況説明をしてきました。個体数管理(シカの駆除など)も含めた対応策の必要性をお話しました。



シカ年度別推移



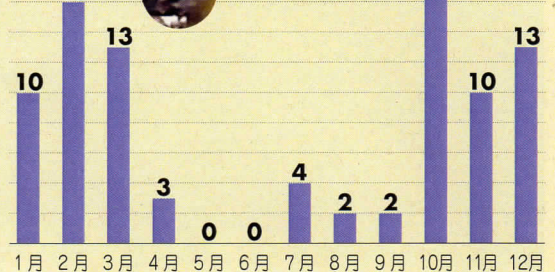
シカ月別推移



テン年度別推移



テン月別推移



\* 2013～15年まではオスジカのみが映りましたが、2016年からメスジカが現れました。この頃から複数で映るケースが増えてきました。

\* 2008年植樹地と201～3林班皆伐地あたりが、食痕／角研ぎや糞が多い様です。

\* シカの年度別推移と月別推移参照

## テン (食肉目イタチ科)

山地の森林に生息し高尾でも多くカメラに映ります。キテン(冬には全身が黄色くなる:毛皮を利用)とスステン(冬でも褐色)がいます。夜行性ですが昼も活動し冬場に多く映ります。

ネズミ、ウサギ、昆虫、木にも登り鳥の卵やひな、木の実などをたべます。夏場は標高の高いところへ移動するのかが殆ど映りません。

\* テンの年度別推移と月別推移参照



哺乳類調査班は、現在4名(白井さん、横川さん、松川信子さん、山崎)で活動しております。

毎週木曜日が活動日です。自然観察を兼ねながら登山道や作業道を歩き動物カメラのデータ回収(SDカード)やカメラの保守をしております。また、映像を編集して会の教育活動や広報活動の一環として、スクール関係や各種イベント、599ミュージアムでの展示会などで多くの方々に説明し、見て頂き好評を得ております。

メンバーの高齢化が進んでおります、興味のある方一緒にやりませんか。

メンバー募集中!

ご希望の方は、山崎まで連絡ねがいます。

### 会員紹介 12

こんな人です…諏訪智子さん



「ここまでハマるとは想像もしていませんでした」

スタートが法人会員だったので初参加日は不明ですが、メールの記録では2007年には参加していたようです。ただその頃は、ここまでハマるとは想像もしていませんでした。

チェーンソーをやると思ったきっかけは、飲み会で「力の弱い女性こそチェーンソーを使うべきだ」と言われたこと。初めのうちは師匠(峯尾さん)や先輩方のご指導についていくのに必死でした。でも木を切ると本当に難しいと気づいたのは、そこそこできる気になった、その先で

した。斜面も木の形も周りの状況も一本一本違う。未だに自分が意図した通りに倒せることなんてほとんどありません。それにチェーンソーだけでなく、ヨキにロープにチルホール…といろいろな道具の使い方も覚えなくちゃならない。でもやればやるほど、ちょっとずつでも成長できる気がするの、なかなか楽しいものです。

機械作業に興味のある方、まずはお手伝い参加いかがですか? 枝払いや玉切った木の片付け要員、大募集中です!

## 「広田久寿さん」を偲んで

小山圭司



心からご冥福をお祈り申し上げます。余りにも早い逝去は誰もが耳を疑ったことと思います。いまでも「どうしたの?」「山はいいよ～」 「どこに呑みいくの?」と軽やかな、いつもの調子で話しかけてくる広田さんが亡くなったとは思えません。が通夜でのお孫さんと笑っている写真やたくさんの山行スナップに囲まれた「思い出コーナー」を眼前にすると納得せざるを得ません。

広田さんとの付き合いは高尾の森づくりの会でお会いしたのがきっかけですが共に全く性格も生活環境も違ったのに何故か気が合いました。今年の1月4日に私が「ものづくり・小屋管理班」の活動日を間違っていたときもMailがあり、高尾周辺での新年会のお誘いがありましたが行き違いになり、「こんど、またね!!」が最後となりました。非常に多才で自動車・輸送業界での発明者ベスト10に入るアイデアと技術を駆使し、たびたび訪問した「ハヶ岳別荘」で訳の分からないものや竈・風呂・テラス等々をつくり、楽しんでいた姿がもう、見れないかと思うと残念でしょうがありません。本当に惜しい方を失いました。

# 事務局からのお知らせ

メールアドレス変更されたら事務局まで！

入会のご案内

ホームページ ● <http://jactakao.net/>  
 問い合わせ先 ● メールアドレス [sxyqw679@yahoo.co.jp](mailto:sxyqw679@yahoo.co.jp)  
 ● TEL 042-644-6970 (松川宛て)

## 主な作業・行事記録

11/25	紅葉鑑賞会	154名 (法人会員95、個人会員59)
11/29	上柚木公園整備	6名
12/2	機械作業実践講習会	13名
12/9	定例作業日	98名 (個人81、法人17)
12/17	都有林整備	23名
12/30	森の研修会	5名
1/13	定例作業日	88名 (個人会員 73・法人会員5)
1/14	滝山公園整備	5名
1/20	都有林整備	16名
2/9	上柚木公園整備	6名
2/17	定例作業日<雪の為、振替日>	47名
2/16~18	三宅島緑化プロジェクト	
2/24	機械作業実践講習会	
2/25	都有林整備	

## 新年度の会費・保険料の納入をお願いします

保健の一括加入手続きを3月中に行いますので、3月21日までに払い込みをお願いします。

	年会費	ボランティア保険料	合計
賛助会員	3,000円	なし	3,000円
一般会員	3,000円	500円	3,500円
家族会員	2,000円	500円	2,500円
学生	1,000円	500円	1,500円

なお他の団体等でボランティア保険に加入する場合は、その団体名等を払込票に記入してお知らせください。重複加入することはできません。

また機械作業登録者のスポーツ保険の保険料は会が負担しますので、対象者は機械作業登録を継続するか否かを払込票にてお知らせください。なおこの保険は会で行う作業等のみが適用対象で、それ以外には適用されませんのでご注意ください。

納入には郵便振替をご利用ください。

- 口座記号番号 00160=3=0688239
- 加入者名 日本山岳会「高尾の森づくりの会」
- 銀行振り込みの場合
- 銀行名 ゆうちょ銀行 019 (ゼロイチキュー) 店
- 預金書類・口座番号 当座預金 0688239

\*同封したゆうちょ銀行払込取扱票により納入の場合、払込料金は会で負担いたします。

## 編集後記



昨年は雨と台風に悩まされましたが自然災害は今後も続きそうです。今年も大雪が降り、異常低温が続く日々がありました。でも、大丈夫です(たぶん?!) もう直ぐ春です!! 明るい陽射しがまもなくベース小屋にも降り注ぎ、小鳥のさえずりも聞こえてきそうです。あたらしい活動も始まり、気の合ったメンバーで気分一新をしましょう! (小山圭司)

## 今後のスケジュール (予定)

3/10	定例作業日
3/24~	599ミュージアムにて
4/1	「高尾の森と生き物たち」
4/14	定例作業日
4/15	育樹祭
4/21	滋慶学園 (Aクラス)
4/22	親子第一回
5/12	定例作業日
5/13	親子第二回
5/19	滋慶学園 (Bクラス)

## 会員動向

退会者 長い間ありがとうございました●  
 山田 明さん 広田 久寿さん

## 定例の専門班活動

- ◆生態調査班 (千谷リーダー) 毎月第一週水曜日
- ◆ものづくり・小屋管理班 (安藤リーダー) 毎週木曜日・第三土曜日
- ◆哺乳動物生態調査班・カエデ樹液調査 (山崎リーダー) 毎週木曜日

## 総会のお知らせ

- 日程 6月16日 (土)
- 会場 富士電機能力開発センター (予定)

## イベントのお知らせ

## 高尾の森と生き物たち

高尾の森づくりの会活動内容のパネル展示や、動物カメラ映像、木工作品、横川コレクションの展示などを通じ会の魅力をPRします。お友達やご家族お誘いの上見学にお越しください。

- 日程 3月24日 (土) ~ 4月1日 (日)  
 動物カメラ映像解説 3/25 14時15分、  
 3/31 14時15分
- 時間 11時~16時 (4/1最終日は15時まで)
- 会場 高尾599ミュージアム2階展示室  
 お客様の質問などに答えるためスタッフとしての支援をお願いします。

